

ブレーカ端子部温度モニタ



ブレーカ取付け例

配電盤内のブレーカ端子接続ボルトの緩みによる端子部の発熱を監視する装置です。
施工は配電盤内のブレーカ端子接続ボルトにワンタッチで取付けできますので、低コスト・短工期で監視システムを構築できます。

■特長

●幅広い用途に対応

センサーユニットは六角穴付ボルト M8・M10 用の 2 種類をご用意しておりますので、配電盤内の種々のブレーカ端子接続ボルト（電源側・負荷側）に対応します。

●省スペース

センサーユニットはブレーカ端子接続ボルトの頭に被せるタイプですので、施工に場所を取りません。

●外部出力

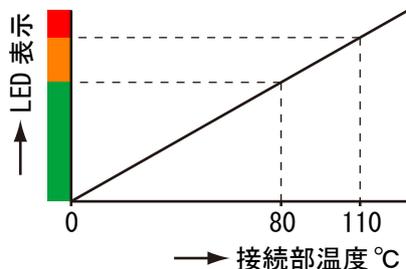
接点出力端子を設けていますので、配電盤内の充電部に近づくことなく安全に発熱異常を判定できます。

■形式・定格・仕様

形式	対応ボルト	ご注文単位	同梱部品		
			センサーユニット	表示ユニット	取付ねじ
T2TM253A10S	六角穴付M8	1台	6	1	2
T2TM403A10S	六角穴付M10	1台	6	1	2

- ・ 温度検出方式：サーミスタ検出方式（温度検出精度±10%）
- ・ 制御電源電圧：AC90～110V
- ・ 出力接点定格：AC125V 0.5A/DC30V 1A（1a接点）
- ・ 検出温度とLED表示/接点出力種別

検出温度	LED表示	接点出力
～80℃	緑	無し
80～110℃	オレンジ	無し
110℃以上	赤	有り

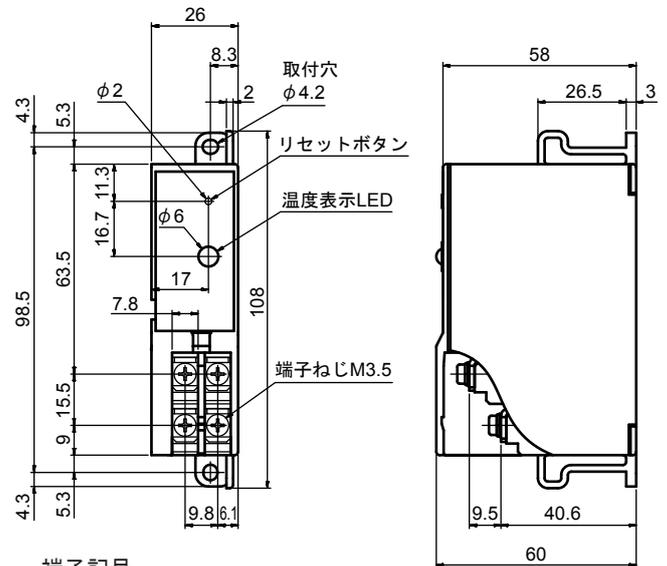


・製品構成

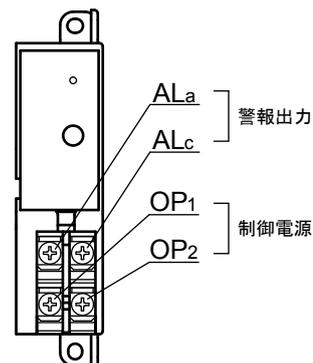
センサーユニット：M8, M10用（2種類）
表示ユニット接続電線付き
（電線長 0.8m）

表示ユニット：制御電源入力・接点出力端子，温度表示LEDを装備

■表示ユニット外形寸法図



・端子記号



・取付寸法図（正面図）

